



国文学研究資料館とは
こういうところです。



歴史的典籍と教育

デジタル画像を教育に活用する

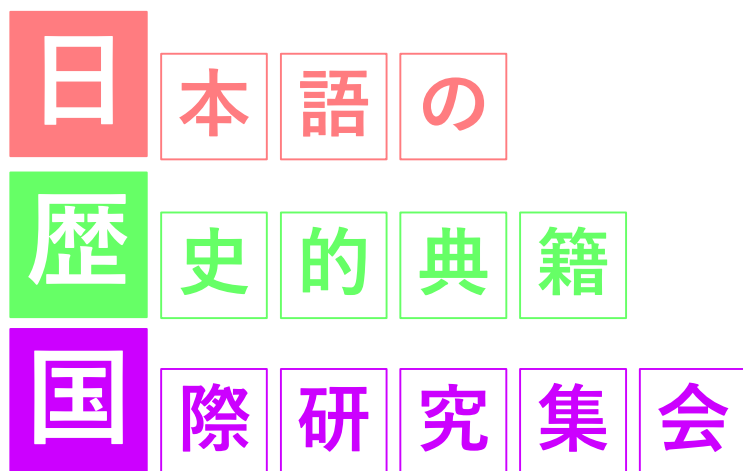
- デジタル社会における教育の取組
- デジタル・ヒューマニティーズ、
教育プログラムの海外動向
- アクティブラーニング実践報告
等々

2021年

11.11 (木)

オンライン開催
18:00～21:30

第7回



大規模学術フロンティア促進事業

「日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク構築計画」

使用言語：日本語

配信ページ (YouTube)



事前登録はこちらから

WEB 会議などで使える
背景画像をプレゼント



<プログラム>

総合司会 山 本 和 明
(国文学研究資料館古典籍共同研究事業センター長)

() 内は中央ヨーロッパ時間 (UTC+1)

17:30 (9:30) 配信開始

18:00 (10:00) 開会の挨拶 渡 部 泰 明 国文学研究資料館長

18:05 (10:05) はじめに 山 本 和 明 古典籍共同研究事業センター長

18:10 (10:10) ~19:25 (11:25)

第1セクション デジタル社会における教育の取組等

i 古典教材の未来を切り拓く！

山 田 和 人 同志社大学文学部教授

ii 「データ駆動型人文学」の担い手を探る

永 崎 研 宣 人文情報学研究所主席研究員

iii くずし字を読むエッジAIの開発

早 坂 太 一 豊田工業高等専門学校情報工学科教授

iv 質疑応答

19:25 (11:25) ~19:40 (11:40) 休憩

19:40 (11:40) ~21:05 (13:05)

第2セクション 具体的実践等の取組

i ドイツにおけるデジタル・ヒューマニティーズと日本学における応用

ミヒャエル・キンスキー

ゲーテ大学フランクフルト・アム・マイン日本学部教授

ii 古典と地域を結ぶICT活用教育の可能性

ー楽しみながら学ぶ「木曾路双六」・「ことわざ絵合わせ」ー

速 水 香 織 信州大学人文学部准教授

宮 本 祐規子 白百合女子大学文学部准教授

中 村 綾 愛知学院大学教養部講師

iii 江戸時代の占い本『清明歌占』を用いたアクティブラーニングと和歌占いの普及

平 野 多 恵 成蹊大学文学部教授

iv 質疑応答

ディスカッサント 中 村 ともえ 静岡大学教育学部准教授

21:05 (13:05) ~21:25 (13:25)

第3セクション データ駆動による可能性

データ集積とドメイン知識：万葉集を例に

海 野 圭 介 国文学研究資料館大型研究計画設置準備室長

21:25 (13:25) 閉会の挨拶 入 口 敦 志 国文学研究資料館副館長

21:30 (13:30) 閉会

※各発表のタイトルは予告なく変更される場合があります。